

講義名	西洋史		
科目区分	教養一般		
担当教員	堅田　智子		
開講期・曜日・時限	後期　火曜日　2時限		
	2018年度　人間社会学部　人間健康学科 / 2018年度　人間社会学部　観光学科 / 2018年度　人間社会学部　人間社会学科 / 2018年度　経済学部　経済情報学科 / 2018年度　経済学部　経済学科 / 2018年度　商学部　マーケティング学科 / 2018年度　商学部　経営学科 / 2017年度　人間社会学部　人間健康学科 / 2017年度　人間社会学部　観光学科 / 2017年度　人間社会学部　人間社会学科 / 2017年度　経済学部　経済情報学科 / 2017年度　経済学部　経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	22123

主題と概要
主題：「『国家』を目指したドイツ」 概要：近現代のドイツといえば、ナチスやホロコーストといった「負」の側面をまず、思い浮かべるでしょう。しかし、はたしてそれだけでドイツを語ることができるのでしょうか。本授業では、「国家」をキーワードに、ドイツがどのような「国家」を目指したのか、19世紀以降のドイツの歴史を学んでいきます。また、「勝者」だけではなく、「敗者」の視点からも、同一事象を検討することにより、中学・高等学校の教科書では描かれな、教科書の「行間」にある歴史についても考えていきます。

到達目標
暗記型の「歴史」から脱却し、思考型の「歴史学」にふれることが、本授業での最大のねらいです。ドイツ近現代史は、ドイツ一国の歴史ではなく、周辺国との関係の上に成り立っています。また、「国家」は人と人の集まりであり、絶えず変化するものです。ドイツ近現代史を学ぶことにより、多角的かつ国際的視点を養い、さらに日本や世界のあり方に興味をもち、主体的に考えていく姿勢を身につけてほしいと思います。 毎回、授業内容をふまえ、リアクションペーパーを書くことにより、みずからの考えをまとめ、他者に伝える力を養うことも、本授業でのねらいの一つです。

提出課題
リアクションペーパー：毎回、授業内で提示した問いに対する答え、感想、質問等を記入するリアクションペーパーの提出を求めます。 中間レポート：授業内で課題を提示します。中間レポートは採点の上、返却します。

評価の基準
リアクションペーパー（25%）、中間レポート（25%）、学期末試験（50%）を総合して、評価をします。 評価の基準は、1. 授業内容を理解し、到達目標に達しているか、2. 主体的に問題意識をもち、それを論理的な文章によって表現し、他者に伝えることができるか、という2点です。 中間レポートおよび学期末試験の課題は、授業内で提示します。なお、授業回数全15回のうち、4回以上欠席した場合、中間レポートを提出していない場合は、原則として評価の対象としません。

履修にあたっての注意・助言他
授業中、スマートフォンや携帯電話は、鞆の中にしまいましょう。私語は慎み、大学生として良識ある態度で授業に臨みましょう。積極的な質問や意見を歓迎します。

教科書
『ドイツ史10講』 坂井榮八郎 岩波新書

プリント資料及び参考文献
プリント資料をもとに、授業を進めていきます。プリント資料は、Ryuka Portalに掲示しますので、各自、授業前にプリントアウトし、持参してください。 1. 石田勇治編著『図説　ドイツの歴史』河出書房、2007年。 2. 森井裕一編著『ドイツの歴史を知るための50章』明石書店、2016年。 3. 若尾祐司、井上茂子編著『近代ドイツの歴史――18世紀から現代まで――』ミネルヴァ書房、2005年。 このほか、プリント資料にも参考文献を挙げます。

授業計画
第1回　ガイダンス / 人種、民族、国民、文化から見るドイツ 第2回　「歴史」と「歴史学」 第3回　「歴史」と「歴史学」 第4回　ドイツ統一への道　：神聖ローマ帝国の終焉　【教科書第6講】 第5回　ドイツ統一への道　：ドイツ連邦の誕生　　【教科書第6講】 第6回　ドイツ帝国の光と影　：ドイツ帝国の誕生　【教科書第6講】 第7回　ドイツ帝国の光と影　：「世界強国」を目指して　【教科書第7講】 第8回　第一次世界大戦とヴァイマル共和国　【教科書第8講】 第9回　第二次世界大戦とナチス・ドイツ　：ナチズム体制とヒトラー神話　【教科書第9講】 第10回　第二次世界大戦とナチス・ドイツ　：「戦争国家」とホロコースト　【教科書第9講】 第11回　冷戦の分断――二つのドイツ――　【教科書第10講】 第12回　東西ドイツの統一　　【教科書第10講】 第13回　過去の克服 第14回　まとめ 第15回　博物館 / 美術館見学

予習・復習
予習：教科書を読むだけでなく、プリント資料をあらかじめRyuka Portalに掲示しますので、プリントアウトし、目をとおしておくようにしましょう。高等学校の時に使用した世界史教科書や資料集に叙述されているドイツの姿、新聞やニュースなどで報道されているドイツの姿に関心をむけてみてください。 復習：教科書やプリント資料をもとに、授業内容を復習してください。

備考